様式第2号

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（基本情報）

609　　令和　8年　6月　1日現在

①	ふりがな 氏名	つつい　はやて 筒井　颯
④ 所属先	所属先名称	合同会社東北野生野生動物保護管理センター
	役職名	研究員
⑥ 専門分野 ※該当に✓を記入		☑ 捕獲手法　☑ 侵入防止技術　☑ 周辺環境整備　☐ 地域合意形成　☐ データに基づく計画立案 ☑ 野生動物管理（生息調査含む）　☐ ICT機器の活用（捕獲通知等）　☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（　　）
⑦ 対象鳥獣 ※該当に✓を記入		☐ シカ　☐ イノシシ　☑ サル　☐ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☐ ハクビシン　☐ アライグマ　☐ アナグマ ☐ カラス　☐ カモ　☐ ヒヨドリ　☐ スズメ　☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（　　）
⑧ 対応可能地域 ※該当に✓を記入		☐ 全国　☐ 北海道　☑ 東北　☐ 関東　☐ 北陸　☐ 東海 ☐ 近畿　☐ 中国　☐ 四国　☐ 九州　☐ 沖縄 ☐ その他※特定の都道府県、地域（　　）
⑨ 免許、資格及び登録状況 ※該当に✓を記入		☑ 狩猟免許　（ 銃：取得年 R1年 、 わな：R1年 ） ☐ 鳥獣プロデータバンク　（☐ 鳥獣保護管理プランナー　☐ 鳥獣保護管理捕獲コーディネーター　☐ 鳥獣保護管理調査コーディネーター） ☐ 鳥獣管理士（　　）級 ☐ ジビエ利活用コーディネーター ☐ その他（　　）

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（活動実績）

609　　令和　8年　6月　1日現在

⑫活動実績	
活動期間	令和6年6月から令和8年3月
地域	宮城県仙台市青葉区・太白区
対策の種類 ※該当に✓を記入	☑ 捕獲手法　☑ 侵入防止技術　☑ 周辺環境整備　☐ 地域合意形成　☐ データに基づく計画立案 ☑ 野生動物管理（生息調査含む）　☐ ICT機器の活用（捕獲通知等）　☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（　　）
対象獣種 ※該当に✓を記入	☐ シカ　☐ イノシシ　☑ サル　☐ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☐ ハクビシン　☐ アライグマ　☐ アナグマ ☐ カラス　☐ カモ　☐ ヒヨドリ　☐ スズメ　☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（　　）
活動の内容	市内に生息する群れの生息状況調査を実施し、データに基づいて各群れの管理方針について捕獲、防除、環境整備の視点から計画立案を行った。またGPSデータの活用を推進するため、ICT機器の試験導入を実施し、使用法について指導を行った。市が群れを捕獲する際には設置地点の選定や手法に関して提案を実施した。

⑫活動実績	
活動期間	令和6年9月から令和8年3月
地域	宮城県刈田郡七ヶ宿町
対策の種類 ※該当に✓を記入	☑ 捕獲手法　☑ 侵入防止技術　☑ 周辺環境整備　☐ 地域合意形成　☐ データに基づく計画立案 ☑ 野生動物管理（生息調査含む）　☐ ICT機器の活用（捕獲通知等）　☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（　　）
対象獣種 ※該当に✓を記入	☐ シカ　☐ イノシシ　☑ サル　☐ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☐ ハクビシン　☐ アライグマ　☐ アナグマ ☐ カラス　☐ カモ　☐ ヒヨドリ　☐ スズメ　☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（　　）
活動の内容	市内に生息する群れの生息状況調査を実施し、データに基づいて各群れの管理方針について計画立案を行った。また鳥獣被害対策実施隊に向けてサルの箱わなを用いた捕獲技術指導を行った。

様式第2号

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（活動実績）

609　　令和　8年　6月　1日現在

⑫活動実績	
活動期間	令和6年9月から令和8年3月
地域	宮城県刈田郡蔵王町
対策の種類 ※該当に✓を記入	☑ 捕獲手法　☑ 侵入防止技術　☑ 周辺環境整備　☐ 地域合意形成　☐ データに基づく計画立案 ☑ 野生動物管理（生息調査含む）　☐ ICT機器の活用（捕獲通知等）　☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（　　）
対象獣種 ※該当に✓を記入	☐ シカ　☐ イノシシ　☑ サル　☐ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☐ ハクビシン　☐ アライグマ　☐ アナグマ ☐ カラス　☐ カモ　☐ ヒヨドリ　☐ スズメ　☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（　　）
活動の内容	市内に生息する群れの生息状況調査を実施し、データに基づいて各群れの管理方針について捕獲、防除、環境整備の視点から計画立案を行った。また鳥獣被害対策実施隊に向けてサルの箱わなを用いた捕獲技術の指導を行った。また群れの全頭捕獲に関連して、関係する機関の合意形成を実施した。